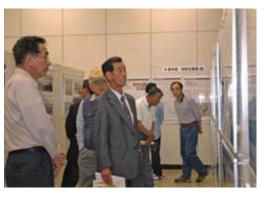


使い方も難しいのが課題。それ が、衛星携帯電話は値段が高く、

▶「一関市内の被災と復旧状況」をテーマに一 ノ関駅東口市民交流センター、市役所などで 行われた岩手・宮城内陸地震関連パネル展。市、 県、国などが提供した資料を見学した来場者は、改めて被害の大きさを感じていました(写真は6月14日、一関文化センター小ホール)

を行うことで、ワンストップのり、市と連携して情報の一元化り、市と連携して情報の一元化 対応を行う必要があります



が叫ばれる中、悩んでいるとこに行えばいいか、プライバシー被災時の安全確認をどのよう

ろです。

災害時の通信手段は重要です

街地ではどこに誰がいるかわかません。生活が多様化し、特に市地震はどこで起きるかわかり

耐えられるものにするため拡幅路を100年に一度の大雨にものを100年に一度の大雨にも

らない社会です

ですね。

いて改善されれば助かります。いことがあるので、これらについことがあるので、これらにつ消に取り組んでいます。ただし 当市は地域イントラネット事業くすのが大切だと考えています。よりも携帯電話の不感地帯をな 数の情報伝達ルークで えるシステムが構築できればと により、携帯電話不感地帯の解 芸報伝達ルートで補完し合携帯電話だけでなく、複

青木 行政は、国・県・市とそれぞれ役割分担がありますが、地域の方々にとっては関係ありますが、地からないとの声をいただいていいのかりますが、との声をいただいで 思います。

の活動を理解していただきたい。の活動を理解していただきたい。位員であることを会社に言えない団員もいると聞きます。企業にも、地域の安全を守る消防団にも、地域の安全を守るのにはもっと団員の活動を理解していただきたい。 いく必要性があると思います。所の整備も、地域ごとに考えてただきたい。ヘリコプター発着 行政と 箱石 消防団員は定員割れの状態。こ で、衛星電話の配備も考えて 話の感度にはばらつきがあるの本部との連絡が肝要。携帯電 (佐藤前厳美18区行政区長続き) 広い市になりました。しかし 当市は合併により、県内 ンメデ から築くこと大 0 連携

▼防災フォーラム会場内では防災指導 車による地震体験も行われました。関

東大震災と同じ震度7の揺れを体験した来場者。何かにつかまるものがないと倒れるほどの激しい揺れでした

解とご協力をお願いします。 張っている団員の活動に、ご理 しています。使命感を持って頑 して、地域の安全のために活動 っと考えていただければ。 団員は自分の家庭を後回しに

ています。平時にメディアと行支障が出たのではないかと感じスコミへの取材対応で、本業に不政のと感じないのと感じないのとないで、本業にのでは、マ ィアと自治体の間で情報共有でていければ。ITを活用し、メデ 政、産業界との連携の場を作っ

法についても、市全体の中でもまた、消防団への情報伝達方

2000 B

パネリスト 宿輪智浩さん

I B C 岩手放送報道局報道部主事

平成9年IBC岩手放送入社。岩手山

これは被災者の気持ちを理解し最優先にしなければなりません。今後は、被災者の生活再建を

だきました。

たので、今後こミューのうまく伝わらない部分もあって、1 耳具に徹底したもの

ませんが、職員に徹底したものた上で事業を進めなければなり

いです。 たので、今後に生かしていきた

は県政担当 **坂本** 大災害に向けた今回の教 力こと。情報を共有することが うこと。情報を共有することが うこと。情報を共有することが うこと。情報を共有することが 齋藤 岩手山危機の時に感じたのが、正しい情報を伝えるためのが、正しい情報を伝えるためのが、正しい情報を伝えるためのが、正しい情報を伝えるためのが、正しい情報を伝えるためですが、安全を守るためにはなりません。建設的な批判も含めて、共せん。建設的な批判も含めて、共通認識を持つことが重要です。 います。 きる仕組みを考えてもいいと思

なで話し合い、できることから行動を取ることができるかみん

す。自分たちで、災害の時どんな

また、自主防災組織も重要で

進めていくことを大切にしたい

噴火危機など災害報道に携わる。現在

継いでいただきたいですね。力の高さのおかげ。後世に引きんだのは、地域の皆さんの防災

修についても着手しているので、す。一関市街地の磐井川堤防改山系の砂防工事に着手していま工事中です。今年度からは栗駒

この3点で磐井川流域の安全度

を飛躍的に高めていきます。

がとうございました。

テックフォースのレベルアッ

た。 んの役に立つフォローを行ってれも力を合わせ、被災者の皆さ 確保に生かされるよう、 今回の被災経験が暮らしの安全 いくという決意を新たにしまし 次に災害が起きたとしても、 われわ

っと密にする必要があります。ためには地元との連絡調整をもに不案内なこと。的確な活動の派遣された隊員であるため地理

プに向けての課題は、全国から

本日はありがとうございまし

た。

す。今回二次災害に遭わずにすの高い地域だと評価されていま一関は全国的に見ても防災力

パネリスト 坂本紀夫副市長

昭和38年旧一関市職員として採用。産業部 長、建設部長を歴任。旧一関市助役、一関市 助役を経て19年から現職

世帯2人への避難勧告を解町字市野々原地内の2世帯町字市野々原地内の2世帯 除しました。

避難勧告を解除

から、市災害警戒本部が決み、安全が確保されたこと 家屋裏山の治山工事が進

安全は確保されたものの、3世帯ともに自宅に大きな被害を受けているため当面は市野々原地内の2世帯は復興支援住宅で、枛木立地での1世帯は自宅敷地内のの1世帯は 定したものです

義援金申請期限を延長

ます

岩手・宮城内陸地震に係

童福祉課福祉総務係❷本庁 ◎問い合わせ先… ①本庁児 日金まで延長します。 ついて、申請期限を7月31

パネリスト 山本聡さん 国土交通省岩手河川国道事務所長 昭和55年建設省入省。国土交通省土地·水

資源局水資源部水資源調査室長を経て19

地域防災力

の高

関

この教訓を引き継

被害への義援金(見舞金)に 農林水産物等4農地等 る❶墓石倒壊❷宅地被害❸

庁農政課☎②84214本建築住宅課建築指導係3本 厅農政課 20842

年から現職

か、各機関に持ち帰って検討しか課題があればどうすればいい較的スムーズに進みました。何

てもらい、すぐに対応していたか、各機関に持ち帰って検討し